

# 小田部落会

## 地域環境美化功労者表彰 環境大臣表彰を受賞

地域の環境美化に関して顕著な功績があった人や団体に對して、その功績をたたえる環境省の2011年度地域環境美化功労者表彰の環境大臣表彰に小田部落会（門場政一会長）が選ばれました。花壇の整備や定期的な道路・河川清掃活動など自然の恵みを活かした景観形成と保全のため長年の地道な活動が認められました。

同会は毎年5月から10月までの第2日曜日、河川や道路などの草刈りや環境整備を「川掃除」と呼び、活動を続けています。「川掃除」が始まったのは昭和40年代。当時、

伝染病などが流行し「水をきれいにしよう」と地域の中心を流れる馬淵川の環境整備を呼びかけたのがきっかけ。現在も、11ある班ごとに河川整備のほか、花や木を植えるなどの作業を行い、その活動を通じて連帯感を高めています。また、平成8年には「花と緑による美しい『やすらぎの里』づくり」を目指し、景観形成のための住民協定を結び、各家庭でできるだけ庭木や花を植えたり、家の屋根は原色を避け、落ち着いた茶や黒系の色に統一するなどの景観づくりを努めています。

表彰式は1月18日、東京のグランドアーク半蔵門で行われ、全国から個人39人、67団体が受賞。小田部落会からは荒谷健一副会長が出席し、表彰状が授与されました。また同月29日には祝賀会が小田林業研修センターで行われ、地域全体でこの受賞を喜び合いました。



①祝賀会に先立ち行われた記念講演 ②祝賀会であいさつする鈴木町長 ③講評を述べる宮口教授

### 過疎地域自立活性化優良事例表彰 総務大臣賞受賞を 盛大に祝う

昨年10月に当町が受賞した「過疎地域自立活性化優良事例表彰総務大臣賞」の受賞を祝う祝賀会と記念講演が1月16日、葛巻小学校体育館で開かれ、町民など約150人が参加しました。

祝賀会に先立ち行われた記念講演では、総務省自治行政局過疎対策室長の山口祥義さんを講師に「偉大なる過疎地域への旅立ち～葛巻町への期待～」と題して講演が行われました。

山口さんは、「先人が作り上げてきたミルク・ワイン・クリーンエネルギーなどへの取り組みを町民全体で守り、歴史を刻んできてきたことが今回の受賞につながった。これからも自分たちのまちに誇りを持って前進し、さらに良いまちづくりに取り組んでください」と参加者らを激励しました。

祝賀会で鈴木重男町長は「今後もまちが持っている機能を活用しながら、皆さんと

ともに知恵を結集し、さらに住みよいまちくずまき、安心して暮らせるまちくずまきをつくりながら、次の時代にしっかりとつないで参りたい」とあいさつしました。

今回の表彰委員会委員長を務められた宮口侗勉早稲田大学教授は講評で「何もなかった山の中に自然と共生する100人以上の職場をつくったことは、全国に例がありません。葛巻では1次産業に根ざすビジネスをしっかりと育てられた。町長や議長ははっきりモノを言う力が身につけておられる。優しさ、暖かさを保ちながら、きちっとしたビジネスを積み上げていく。これは本当に全国の過疎地域の見本。大臣賞は素晴らしい賞ですが、その中でも『断トツ』であると思っていただいて結構です」と話しました。

参加者らは長年に渡る地域資源を活かしたまちづくりの歩みを振り返り、さらに誇りに感じている様子でした。

## 葛巻町議会初議会

### 議長に中崎和久氏 副議長に高宮一明氏

第1回葛巻町議会臨時会は1月20日招集されました。改選後の初の議会で、議長に中崎和久氏（橋場・57歳）、副議長に高宮一明氏（江刈・64歳）を選出。常任委員会の構成や一部事務組合議員などが決定しました。また、町提案の一般会計補正予算など議案5件が原案どおり可決されました。

常任委員会など詳しくは、2月発行予定の議会だよりをご覧ください。



議長  
中崎 和久氏  
(再任)



副議長  
高宮 一明氏  
(新任)

### 監査委員は 馬淵文雄氏と辰柳敬一氏

監査委員に馬淵文雄氏（知識経験者・60歳・小田）と辰柳敬一氏（議会選出・66歳・辰鼻）の選任に同意しました。辞令交付式は1月23日、町長室で行われました。任期は4年間です。



監査委員  
馬淵 文雄氏  
(新任)



監査委員  
辰柳 敬一氏  
(再任)

